

## 5-1 東海地方の微小地震の分布 (1997年 5月 1日～1997年 10月 31日) Distribution of Microearthquakes in Tokai District(May 1-October 31,1997)

名古屋大学理学部  
School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて 1997年 5月 1日より 1997年 10月 31日までの 6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

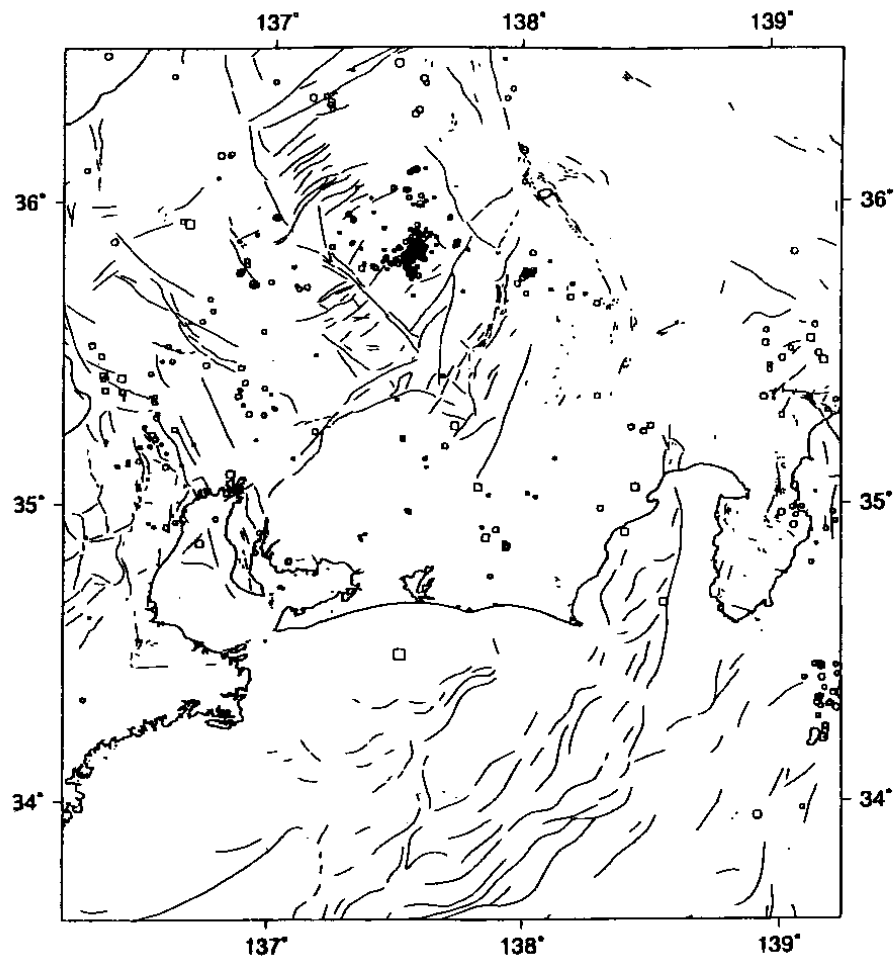
第 1 図は 1997年 5月 1日より 1997年 10月 31日までの 6カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された 20km未満の深さで発生している地震の震央を 3カ月<sup>ず</sup>つの期間に分けて示したものである。第 2 図は同じ期間に 20km以深から 80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 上部地殻内に発生する地震については、東海地域では 7月までは活動的であったが以降は静穏化した。
- (2) 長野県西部地域ではほぼ定常的であった。
- (3) 伊豆半島東方および神津島付近では活動的であった。
- (4) フィリピン海プレート内の地震活動は活動的であった。9月 26日 23:12 に御前崎の南沖で M4.4 の地震があり、余震を伴っていた。

### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1996年 11月 1日～1997年 4月 30日)，連絡会報，**58**，(1997)，353-355.



N= 542

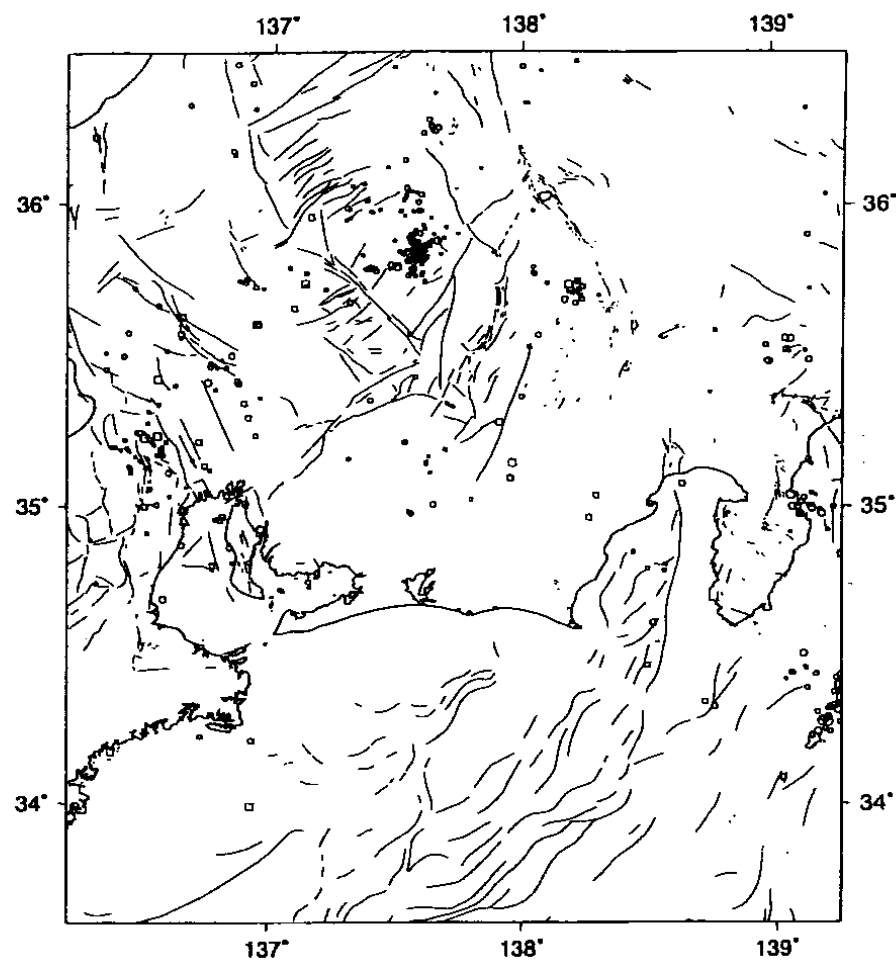
DEPTH 0 10 20

○ □

MAG. 1 2 3 4 5 6 7

● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

1997 5 - 1997 7



N= 474

DEPTH 0 10 20

○ □

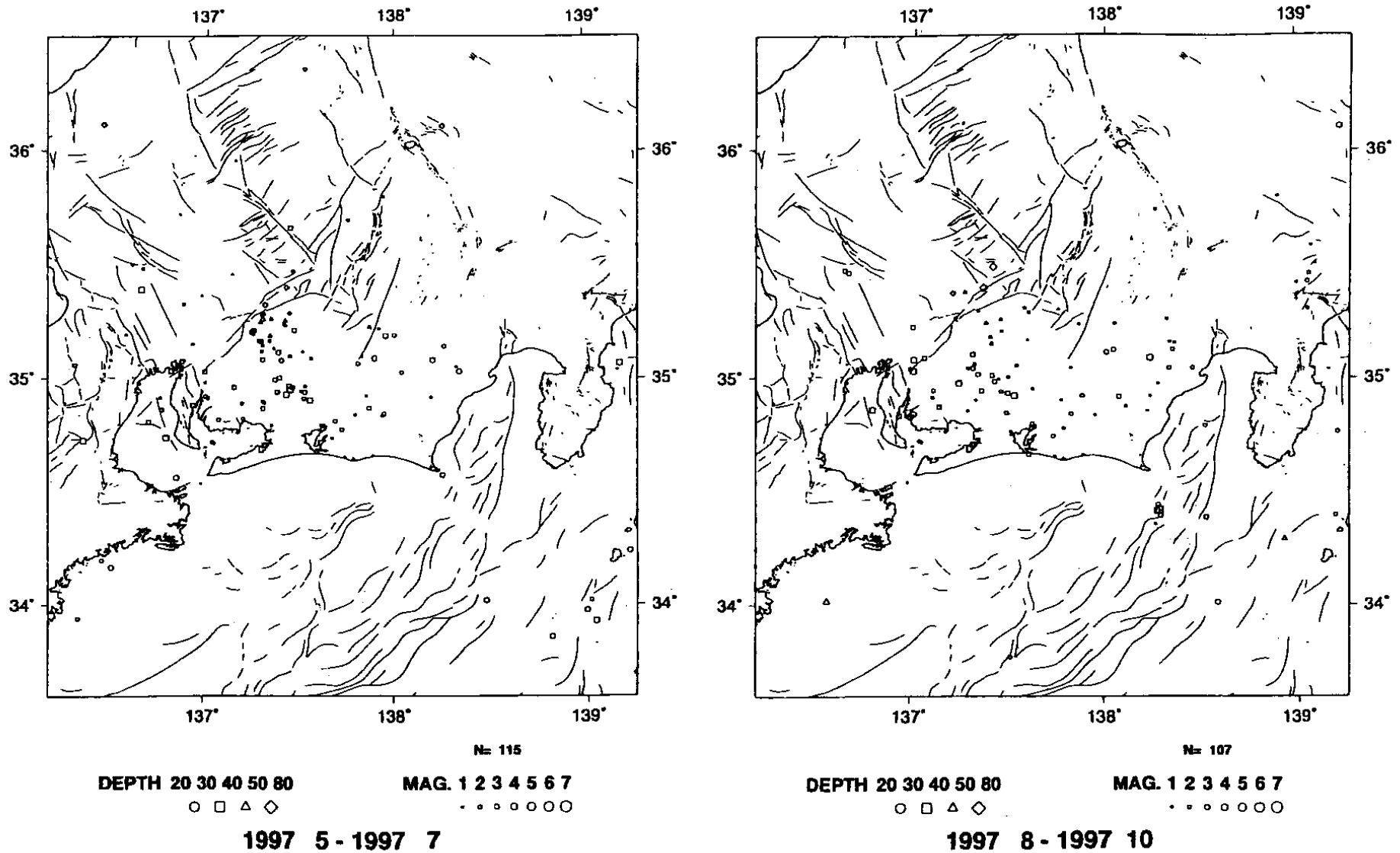
MAG. 1 2 3 4 5 6 7

● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

1997 8 - 1997 10

第1図 微小地震の分布 (1997年5月1日~1997年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes(May 1,1997-Oct.31,1997) shallower than 20km.



第2図 微小地震の分布 (1997年5月1日~1997年10月31日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes(May 1,1997-Oct.31,1997) deeper than and equal to 20km.